

ふるさと大曲

題字 淺谷一男

平成21年7月発行 発行所: 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-1-7-304 教育情報プロジェクト気付 首都圏大曲会事務局
電話 03(5213)2028 FAX 03(5213)2029 eメール: info@e-prosjp.com http://www.supportlife.info



丸子橋から太平山を望む

《目次》

■大仙市栗林市政 2期目スタート切る

会員エッセイ 「時の流れに、そして」

会員インタビュー 高田洋子さん、小松美智子さん

■こんにちは ふるさとさん
アキタコマチのこだわり米に挑戦する 佐藤久男さん

花火の季節がやってくる！ 賢木 新悦

ふるさと納税 ただ今受付中です！

会員のひろば
ふるさと便ご案内 郷土の味レシピ「納豆汁」「おやき」



丸子川の川面を夏の風が渡る



雄物川を渡って梵天が行く

うちしろきん
**「内城菌」パワーで
 私のこだわり米**

世紀の節目である西暦2000年(平成12年)、私は「伊勢神宮新嘗祭献穀田」を斉行する機会を与えていただきました。以来、自然環境と食の安全に対する考え方が改まり、稲づくりにも少しずつ改良を加えてまいりました。

そしてここで出会ったものが「内城菌」でした。画期的なパワーを発揮するこの菌は、これまでは厄介者として扱われてきた食物、魚肉、野菜などから出る生ゴミを有機肥料と化してリサイクルします。これで土壌は生まれ変わり、植物は栄養分を吸収し易くなり「内城菌農法」が可能となります。私のこだわりは、この肥料を入れて栽培する有機米です。

「内城菌農法」は、米作県秋田でもエコサイクルとして力を入れる農法の一つです。これまで八郎潟【湖】の生態系を壊してきた外来種のブラックバス駆除後の処理に、内城菌を使っての有機肥料化に成功し、湖水浄化促進のエースとして注目されました。これは地球に優しい、循環型農業として期待され地元テレビでも取り上げられました。

生ゴミを燃やせばCO2が発生し地球温暖化を促進させます。これを内城菌を使ってリサイクルすることで、大地に潤いを与え、私たちに食の安全と喜びを与えてくれます。花火の町に住む一人の農業人として私は、「私のこだわり米」に意欲的に取り組み、この豊かな大地を後世につないでいきたいと考えております。

そんな気持ちで生産したお米を、首都圏で活躍する大曲出身のみなさまに食していただき、私もみなさまの活躍を応援できることを嬉しく思います。

佐藤 久男

うちしろきん
内城菌(有機肥料)

特別プレゼント!

佐藤久男さんのご好意により、七月十八日開催の総会ご参加の方に、有機肥料の「内城菌」を無料でプレゼントいたします。「内城菌」は人畜無害。花壇、鉢植え、家庭菜園、ベランダ栽培など、どんな植物にも散布することで効果があるといわれます。会場出口でお配りしますから、ご希望の方はどうぞお立ち寄りください。



内城菌(有機肥料)散布で地力をつける



燻炭の散布は手作業



出穂前にミネラル水注入

大曲で生産されたこだわりのアキタコマチです。美味しく身体にも優しい『こだわり米』を是非一度ご賞味ください。

平成21年度産【ふるさとあきたこまち】精米販売価格

- 1.『減農薬・無化学肥料栽培米』(内城菌有機肥料のみ散布土壌)
 5kg 3,000円 10kg 5,000円 30kg 13,000円
- 2.『慣行栽培あきたこまち』(内城菌有機肥料+化学肥料散布土壌)
 5kg 2,300円 10kg 3,800円 30kg 9,800円

※いずれも送料は当方で負担します。数量に限りがありますので品切れの際はご容赦願います。

ご注文・ご連絡先

電話 0187(66)1702 Fax 0187(62)5614
 〒014-0103 秋田県大仙市高関上郷字高屋敷 42 佐藤 久男

人が活き 人が集う 夢のある 田園交流都市

大仙市栗林市政

2期目スタート切る

謹啓 陽春の候 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます

さて 私こと

この度の大仙市長選挙におきまして 市民の皆様をはじめ各方面の皆様から力強いご支援とご厚情を賜り 引き続き市政の重責を担うこととなりました

このうちは 皆様から寄せられました信頼と期待に応えるため新たな決意と情熱をもって「人が活き 人が集う 夢のある田園交流都市」に向け 全力を傾注してまいり所存であります

今後とも一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます
まずは略儀ながら書中をもって就任のご挨拶といたします

平成二十一年四月吉日

謹白

大仙市長 栗林次美

栗林次美市長 無投票で再選果たす

今年4月5日に告示された大仙市長選挙は、栗林次美市長以外に立候補者がなかったことから無投票で再選が決定しました。この度、首都圏大曲会にも、「人が活き 人が集う 夢のある田園交流都市」構築に一層努力するという趣旨の挨拶状をいただきました。



「市政は市民のために」の理念でと、2期目就任の抱負を語る栗林次美大仙市長（広報だいせん vol.98 より）

■元気で戻ってきてね 玉川と丸子川でサケの稚魚放流

大曲地域の丸子川で四月九日、同地域玉川橋下流右岸で十日、サケの稚魚放流が行われました。丸子川では大曲南幼稚園、大曲東保育園、大曲中央保育園の園児たちが、そして玉川では花館小、内小友小、四ツ屋小、神宮寺小の児童たちが、「元気にもどって来てね」と声をかけながら、体長五、五センチの稚魚を放しました。

放流は自然を大切にすることを はぐくんでもらおうと、鮭ふ化放流事業組合と雄物川増殖漁業生産組合が、昨年十二月下旬に玉川で捕獲採卵し、育ててきた稚魚の約七万尾が両日で放流されたものです。

会場は笑顔と歓声であふれ、子どもたちは普段見慣れない稚魚に興味津々。三、五年後には約四、〇〇〇倍の大きさに成長して戻ってくる稚魚の旅立ちを見守りました。

■八地域へ民謡を届ける

ふるさと民謡めぐり

大仙市内八カ所を巡る出前民謡「ふるさと民謡めぐり」の最初の公演が、四月二十九日、大曲市民会館で行われました。

入場無料の出前民謡には、民謡ファンや招待されたグループホーム入所者など、約四〇〇人が訪れました。訪れ

大曲の話題

広報だいせん「だいせん日和」から

た方々は、市内外で活躍する民謡歌手の自慢ののどや、特別ゲストで民謡日本一の鷺谷りつ子さんの唄、東エイ子社中、小松歌子社中の踊りを楽しみました。また、イベント最後を飾って披露された秋田音頭では、出演者がステージ上に繰出となり、会場を盛り上げました。

出前民謡は「民謡を身近に楽しんでもらいたい」と、市民謡愛好会（佐藤昌月会長）が中心となって実行委員会を組織して企画。市内各地域で公演を行い、今年で三回目となりました。次ぎの公演は六月二十一日に太田プラザで行われるほか、十月から十一月にかけて残りの地域を巡ることになっています。

■さくらと花火の共演

余目さくら花火鑑賞会

さくらと花火を楽しむ「余目さくら花火鑑賞会」が、大曲地域の余目公園（内小友地区）で四月二十五日に行われました。

今年で五回目となる鑑賞会。日中は特設ステージで、フォークソングや歌謡ショーなどが披露され、「余目音楽祭」が会場を盛り上げ、夜は約五〇〇発の花火が打ち上げられました。当日はあいにくの雨でしたが、訪れた方々は傘をさしたり、会場に設置されたテントの中から、春の夜空を彩る花火とさくらを楽しみました。

■会員エッセイ

時の流れに、そして

首都圏大曲会会員の皆さんが綴る『大曲 いまむかし』懐かしいあの頃の大曲町。その昔の、旧大曲市になる前のそれぞれの村の姿や思い出など。そしてあなたは今元気に頑張っていますか。どう思っているか。そのまま、気軽にエッセイをお寄せください。4000字原稿用紙3枚程度。写真添付も結構です。

大仙市発展のエネルギー

ふるさと納税に寄せて

小松 辰 巳

(大仙市企画部長)

この冬は暖冬だったとは言え、白一色の世界であった皆さまのふるさと大曲も、いつの間にか桜の季節が過ぎて、新緑が目にかかるシーズンとなっております。

田植えが終わって水が張られた田んぼからは、カエルの鳴き声がBGMさながらに聞こえます。街から少し離れたとネオンサインの灯りもなく、田んぼには、点滅する信号機の明かりとは別に、月明かり、星々が映し出されています。夜空を見上げれば、幾千もの星々が頭上に降り注いでくる、そんな錯覚を起こしそうな気がします。

このように大自然に抱かれた大仙市も、昨年来の世界同時不況による経済危機の影響を受け、消費の低迷や解雇など、厳しい経済状

況にありますが、市としましては、市民の生活の安定を図り、皆さまの故郷(ふるさと)を未来(あす)に残すための、最大限の努力をしているところ です。



さて、昨年の今ごろマスコミを大いに賑わしていた「ふるさと納税制度」をご存知ですか。昨今は新聞等に載ることもめっきり少なくなりました。

大仙市には平成二十年度、五十名もの方々から、五二万八千円のご寄付をいただきました。これは秋田県内二十四市町村の中で、金額では三番目にランクされるものでしたが、ご協力いただいた多くの方々から感謝申し上げたいと存じます。



大仙市では、ふるさと納税を活用した事業として、「魅力ある観光資源を活用した観光交流に関する事業」、そして「老いを楽しみ、

地域を支える高齢者福祉に関する事業」、「次代に残す豊かな自然環境の保全に関する事業」、「健やかな成長を願う子育てと教育の充実に関する事業」の四つの施策を掲げて、皆さまの「ふるさとへの思い」を実現できるような事業に活用させていただきたいと考えております。

ふるさと納税制度は、単年度限りの制度ではありませんので、引き続き多くの皆さまから大仙市へのご支援をよろしく願っています。

厳しい経済情勢に加え、4月にメキシコで発生した新型インフルエンザが、あつと言う間に世界に広がり、日本でも関西圏を中心に感染の広がりを見せる昨今です。

首都圏大曲会の皆さまの健康を祈念するとともに、今年も元気な会員の皆さまにお目にかかれる日を楽しみしながら、皆さまのふるさと大曲からの通信とさせていただきます。(五月二十六日記)

日本医大成田国際空港クリニクに勤務して

日本医科大学成田国際空港クリニク

事務室長 浅野悦洋

(大仙市大曲丸の内出身)

わが国空の表玄関である成田国際空港の日本医科大学成田国際空港クリニクは、一九九二年十二

月第2ターミナルビル完成時から十六年間、日本で初めて年中無休、二十四時間、夜間救急対応(午後5時から翌朝9時まで)を実施してきました。

一般診療(外科系、内科系を中心に)、空港関係者健康診断、空港内およびその周辺で発生した救急患者への対応や、航空機事故の際には、「初期出動」「初期選別」「初期治療」の任を担い、診療や安全・安心を提供してきています。

開院から十五年四か月の症例総数は二二〇、八〇一例で、空港勤務者・客室乗務員一六〇、四九一例(六十九、五%)、旅客六十一、六三六例(二十七、七%)、その他(近隣・ホテル等)八、六七四例(三、八%)でした。一日平均は四十八例、外国人症例は一八、二八四例(七、九%)となっております。

空港クリニクはすべて患者さん中心で、来院された方々に対し、空港クリニク職員全員で、待たせないで、安心して旅行や帰宅ができるよう対応することをモットーに、「医療サービス」を提供しています。大病院の使命として教育・研究・診療を中心に邁進し、その中でも空港クリニクという特性から、感染症対策にも対応しております。今世界各国で対応していますH1N1の患者さまへの啓発文を掲載します。どうぞ参考にしてください。

大曲商工会議所

会頭 高橋 寛

〒014-0027 大仙市大曲通町8番50号
TEL 0187-62-1262 FAX 0187-62-1265
URL <http://www.obako.or.jp/kaigaisho/>

伝統の銘酒
刈穂
http://www.igeta.jp/
e-mail info@igeta.jp

秋田の心を醸す
大地の恵みとともに

雪蔵銘醸
出羽鶴
TEL 0187 (63) 1224
FAX 0187 (66) 2277

お陰様で出羽鶴は二年連続
全国新酒鑑評会で金賞受賞いたしました。
秋田酒造株式会社
秋田県大仙市戸地谷字天ヶ沢八三の一
・お酒は千歳になつたら、お母はおいしく過ませ、
・妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。

誰にでもできる新型インフルエンザ(H1N1型)の感染予防策

I 咳エチケット

■咳やくしゃみがでる時に、他人に感染させないためのエチケット
i) 咳やくしゃみなどの症状があるときには必ずマスクを

着用しましょう。

ii) マスクがない時にはティッシュなどで口と鼻を被い、他の人から顔を避け1〜2メートル以上離れましょう。
iii) ティッシュがない時は口を袖口(前腕部)で押さえ

父逝く

花の季節に(俳句五句)

大友 律子

存ながらえて花の季節に黄泉路へと

花時はなときに父は去りなん春暮れる

復元師おくりびと旅立ちにとへアスプレー

桜の頃ゆ逝ききたいとの望み叶えし

父危篤ききく願わくばエープリルフル

おおもとりつこ 首都圏大曲会副会長。
今年四月一日、父大友鋼三さんを亡くしました。エープリルフルであつてくれればという切ない気持ち伝わってきます。ご冥福をお祈りいたします。

てできるだけ飛沫が拡がらないようにしましょう。

iv) 鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐゴミ箱に捨てましょう。
v) 咳やくしゃみをする際に押さえた手や腕は直ちに洗いましょう。

vi) 咳をしている人にマスクの着用を勧めましょう。

ii) 正しい衛生習慣を身につける
i) 外出する際にはマスクを着用しましょう。
ii) 外出から帰ったら、うがい・手洗いを必ず行いましょう。

III 大勢の人々が集まるような場所へはいかない

■人が集まる場所は感染が蔓延する源
i) 人混みに出かけることは避けましょう。
ii) 症状があるときには発熱相談センターへ先ず電話で連絡しましょう。

2009.5.25 日本医科大学成田国際空港クリニック 所長

以上を皆様へのご案内として掲示しております。

当空港クリニックは国内でいち早く対応しなければならぬ重責を担っておりませんが、今後も迅速に対処していきたいと思っております。

また、秋田県の海外旅行者も多く来院されており、懐かしく思うことがしばしばあります。私の職場を紹介させていただきました。

平成鍋合戦でグランプリ

粘って頑張る大曲の「納豆汁音頭」

高橋 一平

(大仙市企画部地域政策班主事)

桜の季節が足早に過ぎ去って行ったと思っていたのも束の間、早くも夏を思わせるような陽射しの強さには驚くばかりです。

首都圏大曲会の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。今年度は暖冬だったこともあり、

雪の少ない中で春を迎えました。春の訪れは格別のものです。皆さま方のふるさと大曲も、今は田植え真つ盛りのシーズンを迎えようとしております。田んぼには水が張られ、仙北平野一面が大きな湖のようになっております。

さて大曲の自慢の食べ物として「納豆汁」をご承知でしょうか。すでにニュースなどで知っている方もおられると思いますが、山形県天童市で開催された「平成鍋合戦」という名のイベントに、昨年、大曲商工会議所青年部が「大曲の納豆汁」を出品し、みごとグランプリを獲得いたしました。

この「平成鍋合戦」は、毎年冬の時期(昨年は十二月)に開催され、昨年で既に十四回目を数えております。最近はかなり広く知られてきたイベントで、鍋料理を求めてツアーが組まれるなど、昨年も会場には約四万人が足を運ぶなど、全国の食通には知られた催しであります。

「大曲の納豆汁」は、地元産の里芋やネギ、豆腐、塩漬けワラビ、地元産納豆のひき割り・粒・練りの三種類をブレンドしたものを使用し、コメを油で揚げたおこげや温泉卵をトッピングするなど、懐かしい郷土の家庭料理の味とアイ

ディアが詰まった逸品に仕上がっております。

最近では、納豆汁による町起こしを応援するために、「納豆汁音頭」を作成しました。音頭の趣旨は「納豆のように粘って頑張る」を合言葉に、日常の生活の中で自慢出来るものはまだまだたくさんあることに気づき、それをベースにした活動を展開しております。

今年度、ふるさとを来訪される機会がございましたら、ぜひ「納豆汁音頭」を思い出し、自慢の納豆汁をぜひご賞味ください。

納豆汁音頭三番を抜粋
寄ってたんせ 寄ってたんせ
あなたも あなたも
寄ってたんせ

(ハア ソレンソレ)
秋田 大仙 大曲
(ハア ソレンソレ)

元氣とやる気で 町おこし
鍋將軍だよ 納豆汁
(ハア ソレンソレ)
美味しい真心 届けます
(ハア ソレンソレ)
(五月二十日記)

懐かしい大曲の匂い

大釜 茂璋

(首都圏大曲会会長)
地区・地域にはその土地独特の匂いがある。

私の生まれ在所は大曲とはいえ旧四ツ屋村。東に奥羽山脈を望み西に出羽丘陵、北方に秋田駒がどっしりと控え、南に鳥海山を見晴るかす田園地帯の真っ只中。そんな田舎に育った私にとって、大曲の町はまさに大都会だった。汽車を降りて一歩町へ踏み出すと、そこは人や車が行き交う雑踏の世界、町場独特の匂いがあった。

◆ 駅前広場を過ぎると、角に田口果物屋があり、秋のシーズンともなるとブドウやリンゴの甘い香りがブーンと鼻をかすめた。隣の銀長食堂からは美味しそうなうどんの匂いがいつも路上に漂っていた。出し汁の利いた醤油の匂いに葱の香りがよく調和して、それが食堂の前を通るたびに嗅がされるものだからたまらない。

あれはまだ小学校にあがる前だったと思う。母に連れられて、たった一度だけ銀長に入ったことがあった。和服姿のおばさんが、立ち上がる湯気に向こうでうどんを作ってくれたが、町場の人はなんて美味しいものを食べているんだと思いつつも、子どもながらに嬉しかったことを覚えている。秋田市生まれの母にとって、食堂に入ることは何でもないことだったかも知れないが、子どもの私にとっては初体験。今思い出しても妙に気持ちが高ぶる。その

日銀長で食べたうどんのことは、弟や妹たちには内緒だったから、それからずっと母と私だけの内緒になっていた。

◆ 話しを駅前からの通りに戻す。賑やかに客を呼び込む月岡劇場の前を過ぎると、通りの反対側に田村薬局が今もある。店の前を歩くとブーンとアルコールの臭いが鼻をついた。今でも通る度にふと息を吸い込む。懐かしい匂いだ。

田村薬局を過ぎて横丁の小路を組合病院の方角に曲がると、ほんわかシャボンの匂いがした。鼻をひくひくさせると風呂屋さんだと母が教えてくれた。建物の中からは賑やかに反響する人の声や、カランコロン、洗い桶を転がすような音が聞こえていた。

◆ 今がグランマートと洒落た名前に変わったが、当時大曲で唯一の高柳百貨店は、都会的なセンスに満ち溢れた店として、田園育ちの私は、店内に入るだけで気分が高揚したものだ。そこには、いろいろな商品の香りが交じり合った匂いが流れていて、当時の私にとっては、まさしく都会というものをブレンドした、ハイカラな匂いと思えたのである。

◆ 木村医院を過ぎると目の前が丸子橋。当時は木橋だったが橋の上はいつも涼しい風が吹いていた。

大川寺でたいていいるのか微かにお線香の匂いがした。

◆ 橋の上からの眺めは、まさに大曲の町の原風景である。館の橋の向こうに太平山が、形よく三角錐の頂を見せている。耳を澄ますと峯を奔る風の音が聞こえるような気がして、清澄な松葉の香りが匂ってくるように思えたものだ。

◆ 私の大曲の町の記憶は、いつもこのへんで途切れてしまう。記憶の中をこのあたりまで歩いてくると、もはや匂いも薄れてしまうのだ。しかし丸子橋から向こうには、母の使いで時々行った下山薬局があり郵便局があった。瀬戸物屋や市場があったような気がする。町の人が「ブンテン」と呼んでいた榊田分店は、小学校に曲がる角にあつて、本や文房具、びかぴかの楽器なども並んでいた。そこには自分たちの生活の周囲にはない、新しい文化を感じたものだが、今思っても、何か遠い記憶の中だけに残る、違う町の光景だったような気がする。

◆ 大曲小学校は大きな学校で、私の通う鐘見内小学校に比べると、とてつもなく生徒数の多い都会的な学校だった。大曲高校や大曲農業高校は、子どもの私にとっては大人の世界の感覚がしたし、またあの界限で屹立する消防署の火の見櫓は、天をつく高さだった。

◆ 中学一年生だったと思うが、金谷橋を渡り太平山への登山遠足のときなどは、何回も振り返りながら、首が痛くなるまで見上げたものだ。突き当たりの裁判所の周辺は尚更異次元の世界で、そこだけは寄り付きがたい雰囲気だ。いつもひっそり静まり返っていた。とかく感傷に浸りがちになりそうな、記憶に残る大曲の町の印象。今でも鮮明に思い浮かべられるの懐かしい町だからだろう。

◆ 誕生して間もない大仙市。昔の大曲はもつと活気があつたと先輩者たちにはよく言われるが、街の構造や置かれた環境が大きく変わった現在、一概に昔と今を比較するわけにはいかないだろう。

◆ 各地区・地域へ伸びる道路は整備され、郊外へ向かって市街地も広がった。車社会の到来は人々の動きをより活発に、しかも広範囲にした。そして時代の変化はそこに生きる人々の価値観をも変えてしまった。昔は良かったという郷愁だけで人は生きてはいけない。

◆ しかし大曲の匂い、音、町を通り抜ける空気の流れ。郷愁は思い出の中に今も残る。このようなときこそ温故知新の思いに自らを託し、未来につながる今をどう生きるかを共通の課題として、この町の発展を見守っていきたい。

株式会社 嶋田ハム

代表取締役 嶋田耕治

〒014-0016 大仙市若竹町26-23

TEL (0187) 63-1576

FAX (0187) 63-1578



◆第5回全国誌上

花火川柳大会in大曲

○募集日時

平成21年7月1日から
7月31日(当日必着)

○投句方法

郵便はがき、Faxまたは
電子メール

1.氏名、2.住所、3.年齢(学年)、4.職業(学校)、5.電話番号を書き添えて
ください。

○投句先 郵便はがき：〒014-0027
秋田県大仙市大曲通町3-3のびのびら
んど川柳係 Fax：050-7520-1091
電子メール：nobinobi@wine.plala.or.jp

○課題 花火を読んだ作品(読み込み可)

○投句数 一人2句まで

○投句料 無料

○選者 成田孤舟(東京都)川柳「白帆」
吟社主幹、横村華乱(福島県)新潟川柳
人生社主宰、大野風柳(新潟県)新潟川
柳「柳都」吟社主幹、長谷川酔月(秋田
県)秋田市川柳「銀の笛」吟社主幹、森
田万葉(岩手県)美郷町川柳「花泉」吟社
副代表

○賞 最優秀賞(大仙市長賞、副賞と
して大曲の花火栈敷席)1句

優秀賞(大曲商工会議所会頭賞、大仙
市教育長賞)2句

秀逸賞(TMO大曲賞、花火倶楽部店街
賞)6句

入選 15句

《小学生、中学生、高校生の部》

優秀賞(大曲花火協同組合賞、東北電
力賞、大曲金融懇話会賞など)各2句

○発表方法 1.入選者に直接お知ら
せいたします。(8月15日ごろ)

2.花火庵のびのびらんどにて8月20
日から30日まで、展示発表します。

○主催 大仙市民交流プラザのびのび
らんど

○問合わせ先 電話050-7250-1091
代表：森田 克彦担当：小笠原素子

大曲
短信

ふるさと納税 はお済みですか？

ふるさとへのちょっとした心遣い

秋田県大仙市「ふるさと納税制度について」の
パンフレットより。(男鹿和雄さんの作品から)



生まれ育ったふるさと

への思いは誰もが強いも

のがあります。その思い

をちょっと形に表してみ

ようという行為が、昨年

から始まった「ふるさと

納税」への参加です。

納税という、「何だ、

税金か」で片づけられそ

うですが、これはふるさ

とを応援しようという意

味の、一種の寄附金と考

えたいのです。税金と大

きく違うところは、寄附

した金額のうち五千円を

超える額については、翌

年の確定申告で、申告す

ると控除されることです。

昨年度大仙市の「ふる

さと納税」の金額は、秋

田県内二十四市町村の中

で三番目だったとの発表

がありました。大仙市出

身者の、ふるさと思う

気持ち温かく表された

ものです。大仙市では、

「大仙市ふるさと応援基

金」を創設し、今後、寄

せられた寄附金の運用で、

老人福祉や教育など各種

事業に活用することにし

ております。主たる活用

策は次ぎの通りです。

★観光

○「大曲の花火」に関する

運営の充実

○歴史遺産の整備

○観光物産の充実

★高齢者福祉

○医療施設の充実

○高齢者移動手段の確保

○雪対策の充実

★自然環境

○道路や河川などの清掃の充実

○河川について学習する

環境の整備

○休耕田の活用など原風

景の維持

★子育て教育

○育児支援拠点の充実

○子育てにたいする経済

負担の軽減

○心豊かな人材の育成に

◆寄附の方法

・郵便振替

・市指定金融機関への振込み

・前記以外の金融機関か

ら振込み

・市役所窓口(総合政策

課)へ直接

詳細は、電話〇一八七

(六三)一〇一一(内線

二八六)、ホームページ

でも「大仙市 ふるさと

納税」で呼び出せます。

首都圏大曲会

心と心のふれあいのスペース

大曲エンパイヤホテル

県南一のスペースを誇る大宴会場。ご婚礼・各種ご宴会・
お食事・お宿泊などを揃えた シティ型ホテル

〒014-0015大仙市大曲白金町8-17

TEL 0187-63-1131(代) Fax 0187-63-1541

URL: <http://www7.ocn.ne.jp/~empire/>

グランドパレス川端グループ

<http://www.yamanote-hotel.com/>

提携7都道府県下各企業



グランドパレス川端
山の手ホテル
フォーシーズン

ブライダルハウス
クリスタルサーカス

『フォレスト』

葬儀専用施設

『顕彰庵』

葬祭

『アデュー』

会員
インタビュー

大曲は私たちのふるさと。生まれ育つたふるさとへの思いを胸に、この首都圏で元氣いっぱい活躍する仲間たちを訪ねてみました。

首都圏で頑張る会員たち

たか だ よう こ
高田 洋子さん

——お生まれは大曲のどちらですか。

高田 駅からの通りを真っ直ぐ、町の真ん中。寺町で黒川屋という呉服屋でした。旧姓清水、六人兄弟の末っ子として生まれました。

——中学、高校は大曲ですか。

高田 私は新制中学の第一期生。

高校は大曲高校を卒業しました。

——上京はいつですか。

高田 高校を卒業してすぐです。当時は秋田大学を目指す人はいましたが、東京の学校に進む人はまだ少ない時代でした。私は代々木にある文化女子大学の前身の文化服装学院に入りました。

バスケットからフラダンス



「一期一会を大切にしながら」と高田洋子さん

——どんな子ども時代を送りましたか。

高田 六人兄妹の末っ子だった私は、なかなかのお転婆さんだったみたい。身体がよく動いて活発だったんです。(笑)夏は姉たちとよく館の橋の下あたりや雄物川で、真っ黒になって泳ぎました。冬は西山でスキーですね。暗くなるまで遊んだものです。

子どものころ日本舞踊も習っていましたが、結婚式などの余興に頼まれて、川の日など遠くの町まで母と一緒にいったこともあり。美空ひばり親子みたいだねなどと冗談を言いながら(笑)。そうそう、バスケットの帰り、寺町マーケットの八百屋のおばさんに「芋蒸けてるよー」と声をかけられ、そのころはコッペパンとお芋が何よりのおやつでした。今では懐かしい思い出です。

——高田さんはバスケットの選手としても活躍しましたね。

高田 大曲高校はバスケットが強かったです。当時秋田県では敵なしでした。県代表として東北大会や全国大会、インターハイにも出場しました。私は一年生からレギュラーでした。団体というのに、セーラー服に下駄履きで、裾にゴムの入ったズボン姿で名古屋大会に出場しました。リュックサックを背負って。(笑)コーチの先生が長い板を三枚、蝶番(ちょうつ

がい)でつなぎ合わせ、足が疲れないようにとそれを椅子に渡して座り、名古屋に乗り込みました。(笑)

——第一回アジア大会で優勝を経験していますね。

高田 第一回アジア大会はバンコクで開催されました。昭和二十八年十月のことです。このとき球技ではバスケットだけが参加しました。当時強かった日本興業銀行の選手が中心でしたが、学生からは二人選ばれてその一人が私だったのです。

——アジア大会で優勝となれば、その後が大変だったでしょう。

高田 それはもう、思いがけないまさに堂々の凱旋でした。(笑)大曲駅前には道の両サイドに大勢の方々が並んで出迎えてくださり、高校の講堂で開催された報告会に臨みましたが、緊張と嬉しさで涙したことを思い出します。その後実業団の三井生命に入社し、二十一歳まで現役でした。

——高田さんといえばフラダンスですね。始められたのはいつからですか。

高田 結婚後二十五年、主人の両親も亡くなり、子どもも成長したところで、五十の手習いとして始めたのです。高島屋カルチャーセンターから、教えてくださった先生のスタジオへ移り、インストラクターを経て指導者

へと進みました。

幼い頃からスポーツはバレエ、体操、陸上、スケート、スキーとオールラウンドプレーヤーだったかな(笑)日舞も坂東流を教わりました。芸の道は何事も奥深いもの。それは私にとって、いつでも「夢」の実現に向けての体当たりで過ごしてきました。

フラダンスで、初めてのサンフランシスコ大会、グレッシヤスレディー二位、コナクープチで三年連続優勝。フラの大きな大会キングカムハメハc o m p 2005では、日本人初の優勝を経験しました。

バスケットも全日本大会、実業団、オールジャパンで優勝と、それまで抱えてきた「夢」は実現しました。周りの方々や家族に守られ、恵まれた環境に感謝しています。何事も努力、忍耐そして健康であること。年を重ねた今、益々健康で生涯青春をモットーに、常に「夢」を持ち続けたいのです。

——これからの目標は?

高田 いつの間にか七十五歳になりました。前向きに、人生を楽しみ生きるためには、「日々是好日」「二期一会」を大切にし、人との出会いを大事にしていきたいと思っています。ライブ、ボランティアと、多忙な日々をクリアーしながら過ごす毎日です。娘もフラの道を歩み始めました。フラは身体に無理のない全身運動ですし、頭の活性

化にも役立ちます。まだまだ現役。今後は、できれば大曲にもフラ仲間の誕生を願っています。

——首都圏大曲会への希望を。

高田 総会はいつもおもしろいのですが、テーブルを各地区別にしないで、色々な方々と触れ合うように考えてはどうでしょうか。物産の即売コーナーは懐かしさでいっぱい



「みずのたたきが懐かしいですね。」
小松美智子さん

い、何より楽しみですね。参加される市の職員のみなさんもどんどん交流の輪に入って、最近の町の様子などを伝えて欲しいと思います。アキタコマチなど地元物産をアピールし、しっかりと伝えて頂きたいと思います。大勢の会員の参加で、ふるさと会の発展を心より願っています。

人材育成を通して社会貢献

小松美智子さん

——お生まれは大曲ですか。

小松 現在は大曲中通町、昔は黒瀬町と呼んでいました。タカヤナギの裏側ですね。

——学校は一つと大曲？

小松 はい。生粋の大曲っ子。(笑)

——上京はいつですか。

小松 高校を卒業した昭和三十五年の春のことでした。まだ新幹線は通っていませんでしたから、大曲駅から奥羽本線の夜行に揺られての上京でした。

——東京での生活はどうでしたか。

小松 初めのうちは標準語もきちんと話せない状況で、周りの華やかな先輩や同僚たちに圧倒されました。でもみなさん本場に立派で素敵な方々ばかり。学ぶことが多く、東京に出てきて本当によかったと、今も思います。

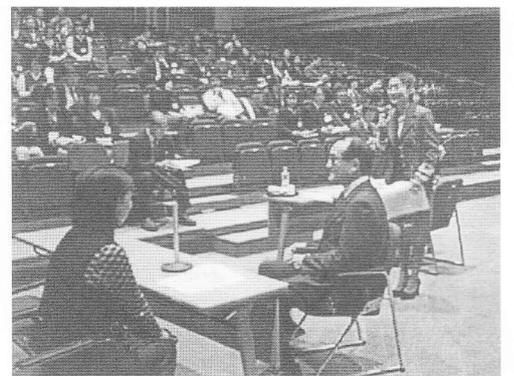
——JALの国際線スチュワーデスですよ。

小松 大曲高校を卒業後、日本空港ビルディングに入社しました。その一年後から六年間、日本航空の客室乗務員として国際線スチュワーデスを経験しました。

——現在は千葉市に本社を置き、マナー講座や社員研修などを手がけるM.I.S.インターナショナルの社長として活躍ですね。

小松 国際線客室乗務員の経験を生かして、企業・団体の新人、管理職対象のコミュニケーションを中心にマナー講座などの研修、講演、翻訳や通訳の派遣などを行う会社です。

日本航空時代の仲間三人で立ち上げた会社ですが、もう設立から二十年を数えました。『社員の意識を変えることで、明日から職場が活性化される』をモットーにして取り組んでいます。研修後に、「あそここの会社は随分変わったね」という言葉を聞いたりすると本当に嬉しく、やりがいを感じます。



大仙市役所の職員を対象にした「接遇マニユアル」も作成しましたが、同じく大仙市が仙北ふれあい文化センターで開催した「マナーリーダー研修会」(写真右)の研修指導にも携わりました。地元の方が頻繁に訪れる行政機関の窓口などの接遇は、適当に方言など土地の言葉を交えることで、ぐんと柔らかく、親しみを増すこともあるのです。

他にも短大非常勤講師や千葉市建築審査委員、千葉女性の活躍推進協議会構成員などもしています。

——子ども時代の曲、思い出などをお話してください。

小松 小さい頃は身体も弱く、引っ込み思案で勉強もそんなに出来なかったと思います。(笑) 中学生になり、やがて将来の目標も見出すことができ、その頃から充実

した生活を送れるようになりました。今考えると、もっとスポーツもやっておけば良かったと残念に思います。

また大曲といえば、何と云っても花火ですよ。私は毎年千葉県の人を案内しています。日本一の花火大会だとみなさんとても喜んでくださいますし、楽しみにしています。

——懐かしい食べ物などは。

小松 「みずのたたき」が懐かしいですね。店先に山菜が出始めた頃、お味噌を入れて母が作ってくれた、あの「みずのたたき」は、本当においしかったと、五月から六月ごろ、山菜のシーズンが訪れると思ひ出します。また「ハタハタの田楽」も好きでした。いろいろの炭火で、母が串に刺したハタハタを一生懸命焼いていた姿も忘れられません。

——首都圏大曲会幹事として、これからの期待や意気込みなど。

小松 老若男女を問わず、大曲出身の方々がぜひ参加してみたいという会にしなければならぬと思っています。この首都圏で大曲の思い出を語り合い、これからの大仙市の発展に役立つような雰囲気、行動を取れるきっかけ作りやジョイント役になれる、そんな存在感のある会になっていくれば嬉しいと思います。

こんにち
はふるさと
さん



アキタコマチのこだわり米に挑戦する

大仙市高関 **佐藤久男**さん

内城菌や海水ミネラル

自然環境整え有機米生産

いろいろな仕事を通して、ふるさと大曲で頑張っている人をご紹介する新企画です。今回のふるさとさんは、内城菌を使ってアキタコマチの有機米生産に励む佐藤久男さん（大仙市高関）です。佐藤さんの田んぼは二〇〇〇年、伊勢神宮に献納する献穀田に指定されたことでも知られます。あえて『こだわり米』という佐藤さん生産のアキタコマチは、美味しく安全な米として、そのファンは年々増えています。（聞き役 大釜茂璋）

献穀田の経験も生かして



生産されたアキタコマチを手にする佐藤久男さん



古式豊に執り行われた伊勢神宮献穀田の田植え。早乙女の後ろを秋田新幹線の「こまち号」が通る

伊勢神宮に献納米

大釜 献穀田とは。

佐藤 伊勢神宮に献納する新米の生産田を献穀田といいます。献穀田に選ばれますと、春には御田植祭を行い、秋には抜穂祭が行われます。そこで収穫された米は、伊勢神宮の神嘗祭、初穂曳きに献納されます。

大釜 どういういきさつで献穀田に選ばれたのですか。

佐藤 平成二年の大嘗祭（だいじょうさい）で、天皇陛下より、秋田県が悠紀斎田（ゆきさいでん）に指定されました。秋田県には神社庁が十三支部あり、二〇〇〇年は大曲北支部が当番になりました。

大釜 なるほど。

佐藤 耕運機をかけて代掻きまでは普通の米作りと同じです。御田植祭が行われる個所は、四方に若竹を挿し、しめ縄で囲んだ聖域内で、古式にのっとり、すげ笠姿の早乙女たちが早苗を手植えします。植え終わると、水口に幣束を立てて収穫までの無事、安全を祈願するのです。

大釜 おごそかな感じですね。特別に気を遣うことは。

佐藤 特にはありませんが、稲を倒伏させないために欲を出さないということだったでしょうか。（笑）要は稲自体の限界を超えて多収穫を目指すことよりも、自然

た。そこで地元の諏訪神社、大高神社などの宮司さんから依頼があり、秋田神社庁より承認されました。

大釜 大変名誉なことですね。何か特別に気をつけなければならぬことがありましたか。

佐藤 献穀米については、それを作る人にかされませんが、なにしろ神様に奉納する米ですから、台風が来たからといって稲を倒伏させてはならないことですね。

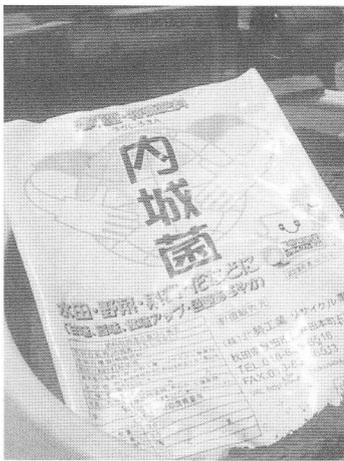


体の中で伸び伸びと育つことに気を遣いました。

内城菌有機肥料は 資源循環型の農法

大釜 佐藤さんは内城菌有機肥料を使い、アキタコマチのこだわり米を栽培していますね。この農法

早春の田んぼに内城菌を散布、左は内城菌



の特徴を教えてください。
佐藤 はい。私たちが毎日食べている食物から出てくる不要な部分、あるいは食物残渣（生ゴミ）などを内城菌によって有機肥料にリサイクルしたものを使った農法です。これは環境に優しい資源循環型の農法として、最近知られるようになりました。

大釜 内城菌とはあまり聴きなれないものですが。

佐藤 菌そのものは自然界にいます。発見者の名前がつけられた複合土壌菌です。低温にもまた高温にも強いという特徴があります。

大釜 化学肥料との違いは。

佐藤 化学肥料を長年使っていると、土の状態が固くなって作物も元気をなくしてしまうんです。私たちが取り巻く環境はいろいろな微生物を必要とし、また活躍することで成り立っています。ところがそんな微生物も化学肥料などが使われているうちに、だんだん活

稲葉の散布は土地の改良に重要な役目を果たしている



躍できなくなってくるのです。

内城菌農法はそんな自然環境を整え、微生物などにより土をふかふかに、作物が元気に育つ最良の状態にしてくれます。何よりも人や動物が食べても、なんら害がなく安全というところが特徴ですね。

大釜 内城菌農法の米の味は？

佐藤 食味のことと思いますが、試行錯誤して今年で三年目になります。田んぼの土にも変化が出てきています。使用する肥料の量が適切だと、必ず病虫害に強く、美味しい米になってくれると思います。

大釜 佐藤さんはこの米を、あえて「こだわり米」と呼んでいますね。

安全と安心

そして味へのこだわり

佐藤 こだわり米の理由は、ま

ず第一が食の安全性、第二が環境に優しい微生物農法というところ。そして微生物とも相性がよく、土壌改良剤として効果のある、もみ殻燻炭を田んぼに散布すること。さらに夏には、生命の源である、海水（ミネラル）を田んぼに入れて、稲と微生物に元気を与えているところにあります。

これからも農薬や化学肥料に頼らず、稲が元気に育って、収穫された米を消費者の方々にお届けしたいと思っています。

大釜 県内での農法による米づくりはどうですか。

佐藤 畑づくりは多いのですが、米づくりはまだ少ないようです。ただ私のクチコミで最近、近所の二、三人が始めました。

大釜 どんな具合ですか。

佐藤 化学肥料と一緒にしたため、稲が出来すぎたようでした。今年は化学肥料を使わずに栽培してみると言っています。互いに田んぼを観察したりして、情報交換を頻繁にしながらやってみようと話しているところです。

大釜 今後の目標を。

佐藤 食に対する安全性、安心感、そして環境循環型農業の意義をしっかりと考え、美味しく、良い米を生産したいと思っています。

第83回大曲の花火 8月22日(土)



日本一の技術と伝統を誇る「大曲の花火」

腕に自信を持つ全国の花火師たちが、音と光の芸術を競い合う全国花火競技大会だ



花火の季節が

やってくるー!



その歴史と上手な鑑賞法を伝授します。

NPO 法人大曲花火倶楽部会長 賢木新悦

明治四十三年八月二十六、二十七日、諏訪神社祭典の余興として始まった大曲の花火奥羽六県煙火共進会は今年八十三回を数え、そして九十九年目を迎えます。

昨年の第八十二回大会は、気象条件が悪く観客の皆さんには大変な思いをさせてしまいました。今年の冬は雪が少なく夏の天気は心配ですが、晴れてくれるよう心から願っています。

大曲の花火の創設期

どのようにして大曲の花火が始まったのか。糸口に、明治四十二年十二月一日発行の「知られたる秋田」に記述があります。

花火大会が始まる二年前の明治四十一年八月、秋田の知事で快男子であった森正隆氏が、秋田を天下に知らしむる目的を以て東京の記者団を招待しました。一行は二十新聞二誌三十四名、八月二十三日夜上野を出発、二十四日院内、横手を経て大曲駅に夕方到着しました。

「東京二六新聞」記者吉田淳は次ぎのように記事を書いています。

「大曲町及び其の附近が吾

等を歓迎せる盛大は殆んど筆舌に絶す、日暮れて大屋形船に一行を載せ、満船飾の大小の船々これを囲みて、火光昼の如く、町を掠めて流る、鞠子川に鞠子橋よりとまずなを解く。橋の上、土手の上、近郷近在の有らゆる老幼を集めて歓呼地を震わし、警察総出の警衛懇切を極む。勇まし勇まし岸上の篝火、仕掛煙火、打ち上げ煙火此の地未曾有の大賑ひ、美觀壯觀、名状すべくもあらず、團々たる彩火におぼはれて此世の事とは思われず」このように、大屋形船での接待の最後に花火を打ち上げ歓迎する大曲人の思いがあったのです。

翌々年の明治四十三年、諏訪神社の祭典の余興の当番だった佐々木吉郎右工門(カネ吉)氏が榊田清兵衛氏と相談。池田文太郎氏、田口惣左衛門氏等の協力を得て仙北新報社を主催に奥羽六県煙火共進会が始まりました。

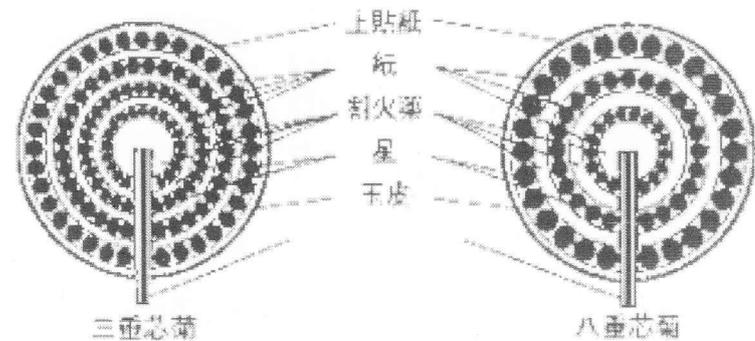
花火鑑賞其のI

日本の伝統花火割物

今年八十三回大会ですが、最初から変わらない競技



感動のフィナーレ スターマイン (速射連発)



玉は割物で日本の伝統花火です。大きさは一〇号で尺(三十センチメートル)玉ですが、開花高度は三百メートル、直径は約三百三十メートルになります。大曲での競技の一〇号の部は課題玉と自由玉があり、課題玉は三重芯以上が条件です。タイトルを花火では玉名(ぎょくめい)と言います。プログラムを見ると内容が分かります。

「昇り曲導付き三重芯変化菊」は昇っていく際に尾等が見えることです。「昇り小花」は途中小さな花火が咲きます。三重芯は三つの輪と外側を加えた四つの輪が見えます。変化菊とは尾を引き星の色が変化します。また、菊とは違う牡丹は、点で移動し尾を引きません。芯を入れる技術は大正時代、紅屋青木煙火店が最初に芯入り(二つの輪)を作りました。その後進歩し、八重芯(三つの輪)三重芯(四つの輪)

そして十数年前菊屋小幡煙火店が四重芯(五つの輪)を数年前、野村花火工業が五重芯(六つの輪)を発表。大曲の小松煙火工業も数年前から五重芯を大会で打ち上げています。技術的には星の配列に精巧さを要求されますし、星を飛ばす割火薬は爆発力の強弱が微妙で最高技術が求められます。

ただ、一般の方が四重芯、五重芯を瞬間的に判別するのは難しいと思います。花火愛好家の中には八重芯が一番美しいと言う方もいます。

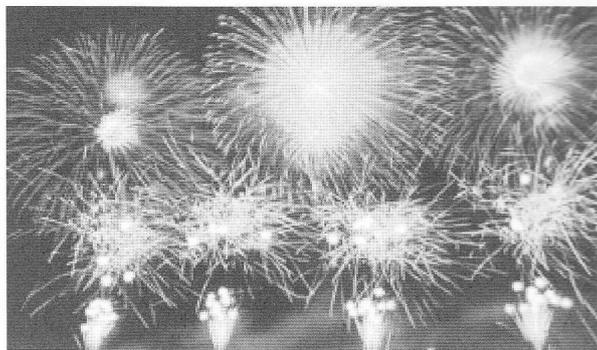
花火鑑賞其のⅡ

自由玉は課題玉の多重芯と異なる花火で、千輪菊はバーンと開花するが何も見えず、やがて小さな花火が三十数個咲きます。万華鏡は明るい光の塊を分散して咲かせます。また、冠菊は星が消えずにずうっと垂れ下がってくる花火で一般の方に人気があります。

型物花火はハートや魚キャラクターなどを表現します。ただ花火は打ち上げ途中で回転しますから思うように観客に向けてくれませぬ。

大仙市から参加する花火師は日本伝統の和火を得意とする和火屋、割物の大曲花火化学工業がいます。是非地元四社を応援してください。

一〇号割物二発は標準審査玉から始まります。金属発射音が聞こえる出来るだけ近い場所を占めて、首が疲れ、燃えカスが降ってきてお尻が！腹が！びりびり響く感動を是非今年も楽しんでいただきたいと思えます。



見る人に感動を与え夢の世界に誘う

乳頭温泉郷

黒湯温泉

〒014-1201 仙北市田沢湖生保内字黒湯沢 2-1
 TEL 0187-46-2214 FAX 0187-46-2280
 URL <http://www.nyuto-onsenkyo.com/>

太平山 モンドセレクション
 10年連続金賞受賞

純米大吟醸 天巧
 秋田生酏純米
 吟醸秋田生酏

小玉醸造株式会社
 秋田県湯上市飯田川飯塚字飯塚34-1
www.kodamajozo.co.jp

首都圏大曲会の

ふるさとと便再開

タカヤナギの協力を得て

首都圏大曲会では会員を対象に、「大曲の味、ふるさとの香り」をお届けすることを目的に「ふるさと便」を開設し、希望する方々にご利用頂いてきました。

これは大仙市飯田にお住まいの山田アイ子さんの献身的なご協力を得て続けることができたものです。ところが山田さんの仕事が始まると忙しくなり、その一方で体調が優れなかったというところから、取扱いを辞退されたことから、首都圏大曲会ではその後の「ふるさと便」の扱いを検討してきました。

この度この事業の継続について、(株)タカヤナギに相談し、この外商部を利用して頂くことになりました。タカヤナギといえば地元で知らない人はいない老舗のお店ですから、大曲を離れて東京や首都圏で生活している人でもきわめて馴染み

深く、格別の親しみを感じることも多いと思います。

タカヤナギのイーストモールにある外商部では、時期に合わせて通信販売企画のもと、この夏も「秋田の夏ギフト」作り手の顔が見える秋田の味を先様へキャンペーンを展開中です。空気のきれいな大仙で育った美味しい野菜をお届けする企画「ナチュラルスタンスクラブ」は、都会生活を送る人々の目をごんと引きまします。

この内容は、「ナチュラルスタンスクラブ」採れたて野菜Aセット(とうもろこし大五本、枝豆三〇〇グラム三袋)は二、九八〇円、同じく採れたて野菜Bセット(とうもろこし三本、アスパラガス三〇〇グラム、枝豆三〇〇グラム二袋)が二、九八〇円、同様に採れたて野菜Cセット(とうもろこし味

来・ゴールドラッシュ大サイズ各五本)二、九八〇円など、首都圏にいながらお気に入りの大仙市の野菜が入手できる仕組みになっています。

もちろん農産物以外の加工食品(嶋田ハムや仙北市田沢湖の「山の芋鍋セット」、大仙市アグリテクノジャパンの「すずさやかめん」)など、いろいろな品

物も選ぶことができ、さすが長年にわたる経験とプロフェッショナルな品揃えを感じます。

商品紹介のカラー版案内
ちらしは総会会場で「ふるさと大曲」第七号と一緒に配布いたします。

空気のきれいな大仙で育った
美味しい野菜をお届けします!



直 101 大仙市
[ナチュラルスタンスクラブ]
採れたて野菜Aセット
とうもろこし大5本
枝豆(青豆)300g3袋
2,980円

直 102 大仙市
[ナチュラルスタンスクラブ]
採れたて野菜Bセット
とうもろこし3本・アスパラガス300g
枝豆(青豆)300g2袋
2,980円

直 103 大仙市
[ナチュラルスタンスクラブ]
採れたて野菜Cセット
とうもろこし味&ゴールドラッシュ
大サイズ各5本
2,980円

No.101~103 承り期間/8月7日(金)まで 発送期間/8月7日(金)~8月10日(月)まで

大仙市
直 104
[ナチュラルスタンスクラブ]
採れたてアスパラガス
大1.5kg
2,800円
承り期間/8月7日(金)まで
発送期間/6月20日(土)~8月10日(月)まで

山形県 本場鶴岡の特産品種「白山」に
こだわって発送します!!
直 105
[山形・鶴岡市]
本場白山ただちや豆
1kg
3,980円
承り期間/8月7日(金)まで
発送期間/8月7日(金)~8月10日(月)まで

ゆかり
大曲に所縁のある人みんなの会

首都圏大曲会 会員募集中!

年会費: 1家族千円(会報代・通信費など)です。

☆ご質問・入会お問い合わせ先

〒102-0061 東京都千代田区九段北1-1-71-304
教育情報プロジェクト気付
電話 03-5213-2028(代表) FAX 03-5213-2029
eメール: info@e-prosjp.com

株式会社 M.I.S. インターナショナル

代表取締役 小松 美智子

(三育学院短期大学非常勤講師)

〒260-0045 千葉市中央区弁天 2-23-1
TEL: 043-254-4757 FAX: 043-254-4796
E-mail: mis@mis-i.co.jp http://mis-ico.jp

夏の旬
天然岩がき

ミナソが豊富で真溜山の清流水が注ぎ込む
海域で育ったのでうまみが濃いです。

にかほ市 直 201 天然岩がき 消費期限：商品到着後
冷蔵にて3日

A.大10コ(殻あけ器具・説明書付) B.大15コ(殻あけ器具・説明書付)

5,000円 **7,000円**

※天候により発送が遅れる場合がございます。

男鹿市
直 203 荒磯活貝
詰め合わせ
活あわび約100g2コ
活ざざえ約100g6コ

5,800円

男鹿市北浦
秋田で漁獲された魚をしょうゆ、
秋田地酒酒粕でじっくり漬け込みました。

直 204 [田沼屋慶吉]
北浦吟醸詰め合わせ
清魚(真鱈3切・鮭3切・桜鱈2切)
OGM-50 **5,250円**

直 205 [田沼屋慶吉]
北浦吟醸詰め合わせ
清魚(真鱈2切・鮭2切・桜鱈2切)
OGM-40 **4,200円**

男鹿市
直 206 男鹿産晩酌セット
黒糖200g2コ・はたはた身酒200g・くらも三升酒100g
キハサ200g(全て解禁)

4,800円

男鹿市
直 208 男鹿産手造り一夜干しセット
男鹿産カレイ干し2枚・いーか一夜干し2枚・あし2枚
はたはた(オス)5匹
秋鮭切り身約80g3切

4,800円

直 送料込み・全国どこでも同一価格で産地・メーカーより直送

表示価格 **2,600円以上は 全国送料無料**

インターネットでもお申し込みいただけます。

タカヤナギ 検索

E-暮らしの情報満載 ● イータカヤナギドットコム
<http://www.e-takayanagi.com>

無 は全国送料無料、直 は送料込み・全国どこでも同一価格で産地・メーカーより直送致します。表示価格は総額(税込)です。

地区	都道府県名	料金
秋田県内		420円
北海道		850円
東北	青森・岩手・宮城・山形・福島	640円
関東	群馬・栃木・山梨・茨城・千葉・埼玉・東京・神奈川	740円
信越	新潟・長野	740円
北陸	富山・石川・福井	850円
中部	静岡・愛知・三重・岐阜	850円
関西	大阪・京都・奈良・滋賀・兵庫・和歌山	950円
中国	鳥取・島根・山口・広島・岡山	1,060円
四国	愛媛・香川・高知・徳島	1,160円
九州	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島	1,270円
沖縄		1,480円

包装の簡素化にご協力をお願い致します。

タカヤナギではゴミ削減運動を積極的に推進し、包装の簡素化を実施いたしております。

首都圏大曲会が会員のご要望にお応えして取り組んでいる「ふるさと便」は、これまでは漬物などホンモノの秋田の味がすると好評でした。会報『ふるさと大曲』の他に、今後ホームページでもご紹介してまいりますのでぜひご利用ください。

伝えていきたい
秋田ならではの風土と暮らし…
タカヤナギ・グランマートは
秋田の食文化を応援します。

Quality Life Partner

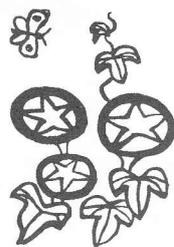
クオリティライフパートナー タカヤナギ・グランマート

大仙市・秋田市・横手市・湯沢市・由利本荘市・仙北市

首都圏大曲会

会員のひろば

「会員のひろば」では、会員の皆さまからの作品を募集しています。詩・短歌・俳句や川柳・エッセイ・写真など、何でも結構です。締切りはありません。どうぞ事務局までお寄せください。



俳句

四季それぞれに

朱華

松飾り多忙多用に間に合ひて
白梅の咲きほこる里懐かしく
我が家から眺める桜ひっそりと
七夕に逢ひたい人は遠かりて
貝の沢再び来れば秋模様
軽井沢テニスコートに秋の空
手作りの惣菜届いて郷の秋
青空に稲穂の頭(こうべ)美しく
晩秋に笑顔残して逝った先生(ひと)
初雪の便り届いて元気なり

私は素晴らしい先生にお会いすることができた。ちょうど一年半前のことである。その当時の私は、体調が優れず、そのことを真正面から受け入れられずにいた。病院にも行かずに入らなで、もちろん満足な仕事ができない。焦りだけが続いていた。

先生とその頃に出会った。生きる力を貰ったと感じた。あとで分かったことであるが、年齢が近いことも一因として確かにある。それよりも、いつも笑顔で、「どうでしたか、この二週間は？」と問いかけをしてくれる。先生とは色々なことを話した。仕事のこと、人生観・人間関係・生き方などなど。そして、帰られるときには、「元気で、無理をしないでください」と励ましてくださる。
ちょっとしたことではあるが、私にとっては救いだった。佳人薄命。神様は良い人をなぜ早く呼んでしまったのだらう。

大友律子(朱華)

作詞

あなたと共に

今井幸子

夜明けの道は 暗くとも
二人で付けた 足跡を
迷うことなく 踏みしめて

時には顔を 見つめあい
時には微笑 合いながら

私の願い 叶うなら

新たな道を 迷わずに

曲がりくねった この道を

時には肩を 寄せながら

時には腕を 組みながら

間もなく朝が 訪れる

光りを求め 迷わずに

あなたおまえに 戻りたい

時には笑顔で 語りあい

時には涙を 流すとも

作詞した今井幸子さんは旧大曲市四ツ屋高関出身。一昨年の十二月、病氣療養中だった最愛のご主人を看取り、今は元気だったころの二人の生活を偲びながら、多様な趣味に生きる毎日です。この詩は、滝ひろしさんが作曲し、CD化しております。

東京海峡

黒皮羽生

夢を失くした 男がひとり
夢を追いかけて 女がひとり
ふたりを繋いだ 虹の橋
出船入船 ゆりかもめ
別れと出会いの 東京海峡

愛を忘れた 男がひとり
恋を無くした 女がひとり
ふたりを結んだ 海ほたる
愛と恋とが かくれんぼ

日の出 日の入り紅(くれなじ)そめて
寄り添うさざ波 東京海峡

過去を引きずる 男がひとり
未来(あす)を探して 女がひとり
ふたりが拾った 似た運命
浮世舞台は ゆめみなど
おまえあなたの 小さな糧で
漕ぎ出すしあわせ 東京海峡

黒皮羽生は、首都圏大曲会幹事佐藤重光さんのペンネーム。全日本音楽著作家協会会員。「東京海峡」は平野桂三さんの作曲、中島昭二さん編曲、戸塚喜代さんの歌でCDになっています。

新緑の里山に行く カメラ紀行

斎藤 貞助

(首都圏大曲会事務局長)

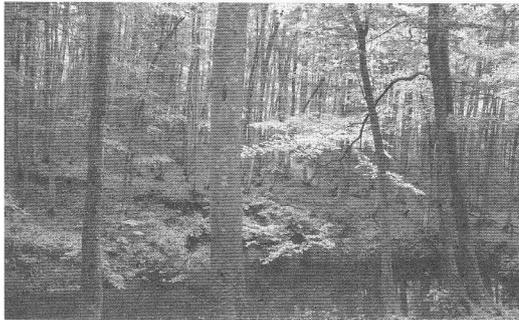
花の季節が北上していった5月の一、新潟県十日町近辺の里山へ撮影旅行に行ってきました。燃えるような新緑が初夏の陽射しを眩しく受けて、水の張り込まれた棚田の上を、のどかなカッコウの鳴声とともに風が心地よく吹き抜けていました。



燃える新緑



光る棚田



初夏の彩り



樹々のささやき

“魚と遊んで遊ばれて”

トトヤ
魚屋の
オヤジ
やっています

本社

新木場工場

新砂工場

ビル事業部

ふるさと
のみなさん
お元気
ですか

〒136-0075 東京都江東区新砂1丁目8番5号 電話03-3640-6411(代) FAX03-3644-5832

おかげさまで
創業45周年
45th
21世紀へ



東京水産工業株式会社

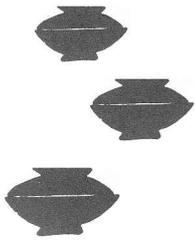
代表取締役社長 佐藤 重光

納豆汁

《作り方》

- ①里芋は皮をむき小さめに切る。わらびやサクなどの山菜は2センチの長さに切る。
- ②豆腐はさいの目切り、油揚げは1センチの長さにする。
- ③ネギやからし菜は細かく刻んでおく。
- ④煮干してだしを取り、汁に①の里芋・山菜・きのこ類を加え、煮えたら②の材料を入れる。
- ⑤納豆をすり鉢ですりつぶし、④の汁を少しずつ加えて溶き混ぜる。
- ⑥に味噌を入れて煮立ち出したら、⑤の納豆の溶き汁を加える。(煮立てないようにする)
- ⑦⑥をお椀に盛り、ネギやからし菜の刻んだものを上にのせる。

懐かしの味 レシピ



☆材料および分量(5人分)

- 納豆 150グラム
- 味噌 120グラム
- 煮干し 5〜6匹
- 豆腐 2分の1丁
- 里芋 中3〜5個
- 塩出しした山菜 100グラム
- (わらび、サク) きのこ(なめこ、サワモダシ) 100グラム
- ぜんまい(もどしたもの) 50グラム
- ネギ 1本
- 油揚げ 2枚
- からし菜(塩漬けたもの) 50グラム



【調理のしじ】

納豆を入れてからは、煮立てないように火を加減します。お好みによってせり、みつば、たか菜の塩漬けを加えても味が引き立ちます。

おやき



《作り方》

- ①もち米は洗い、室内で二日間くらい干し、粉にする。
- ②もち米粉と小麦粉を沸騰した湯で手早くかき混ぜる。
- ③丁寧にはらでかき混ぜながら、耳たぶより少し柔らかめにこねる。
- ④平らな容器に取り粉を敷いて、へらでポタポタと③を落とす。
- ⑤④に餡を包み、形を整える。餡を包む方には粉をあまりつけない。
- ⑥熱したホットプレートにサラダ油を薄く敷き、蓋をして⑤の両面を焼く。

☆材料および分量(8〜10人分)

- 餅米粉 900グラム
- 小麦粉 200グラム
- あんこ 300×300個分
- 熱湯 約2000CC
- 取り粉(持ち米粉) 適量
- サラダ油 少々

【出典】あきた興味風土記

「心のなごこあきたの食百選」

◆◆編集後記◆◆

大曲を離れて長くなると、季節が変わるたびに故郷のその季節を思い出します。先日「一田んぼでは蛙の鳴声があるさいほど」と友人から便りがあり、ああそういう時期なんだと懐かしく思いました。◆「ホテルこい」と飛んでくる螢を追って、小雨に濡れた土手を走り回っていたあの頃。じよぼじよぼ田んぼから小川に落ちる水の音。植え揃った稲田の向こうでカッコウが鳴き、しっとり湿った空気が漂う爽やかな初夏の大曲。「人が活き 人が集う 夢のある田園交流都市」の未来像が、少年時代の思い出の中でゆっくり巡ります。◆「会員エッセイ」大仙市の小松辰巳企画部長、高橋一平主宰による、ふるさとの香りをふんだんに盛り込んだ随想を掲載できました。◆新刊インフルエンザ対策を、勤務する日本医大成田国際空港クリニックからお寄せくださった浅野悦洋幹事にも感謝いたします。大曲花火俱樂部賢木会長に「花火の季節がやってくる！」をご執筆願いました。大曲の花火の歴史や花火の見方など、大曲人らしい花火の楽しみ方を教えていただきました。◆会報を通して、ふるさとと首都圏の風通しを図りたいと、「会員インタビュ」「こんにちはふるさとさん」を新しく企画しました。インタビュの自薦他薦を募集中です。どうぞ事務局までご連絡ください。◆首都圏でふるさとの味をとお伝えしてきた「ふるさと便」は、お世話頂いた山田アイ子さんから、お馴染みの「タカヤナギ」に替わりました。山田さんには心から感謝し、タカヤナギさんにはどうぞよろしくお願いたします。(大釜)

國學院大學

大友律子

(首都圏大曲会副会長 内小友出身)

〒145-0061 東京都大田区石川町2-33-1-406
Tel/Fax: 03-3728-0280
eメール: zwu00100@nifty.com

小・中・高校教師を対象にした英語研修の企画、実施
検定試験業務の企画・運営、編集・取材・コピー制作

NPO法人 教育情報プロジェクト

代表 大釜茂璋

〒102-0061 東京都千代田区九段北1-1-71-304
電話 03-5213-2028(代表) FAX 03-5213-2029
eメール: info@e-prosjp.com
http://www.e-prosjp.com

夏瀬温泉 都わすれ



(秋田・田沢湖・抱返り溪谷県立自然公園)

田沢湖と角館の中ほど。紺碧の湖や溪流を見ながら木立の道を進みます。広い敷地と周囲の山々に包まれた「都わすれ」は客室わずか8室。全室抱返り溪谷の景観を見ながらのかけ流し露天風呂付きという、人里離れた理想のくつろぎの宿です。

秋田県仙北市田沢湖卒田字夏瀬84
TEL 0187-44-2220

「ふるさと大曲」第七号

平成二十一年(二〇〇九年)七月十八日

ふるさとの「湯っこ」は
あなたのお帰りをお待ちして
おります。

(秋田・十和田湖・八幡平国立公園)
ここ乳頭温泉郷は、七湯の素晴らしい泉質の宿が点在しています。中でも妙乃湯は関西から見た東の「金泉・銀泉」の二源泉を併せ持った誇れる宿です。また小じんまりした秘湯の素朴さ、古さに新しさのバランスを加味した趣のある宿として大変喜ばれております。

秋田県仙北市田沢湖生保内
字駒ヶ岳2-1
TEL 0187-46-2740



乳頭温泉郷
金の湯
銀の湯

妙乃湯温泉

田沢湖畔 エステ&カフェ



2008 3月1日OPEN!

秋田県仙北市田沢湖田沢字湯前72

TEL 0187-43-2005 URL <http://ischia-hotel.jp> info@ischia-hotel.jp



首都圏大曲会発行